



TEZZO プロデューサー 太田哲也氏

ル・マン 24 時間レースに 4 年連続でフェラーリを駆って出場するなど、跳ね馬の神髄を知っている貴重なレーサー。現在は銀色のディーノ 246GT を所有しつつ、TEZZO ブランドにてフェラーリ等のモディファイを手がけている。

「上手く乗りこなせた時の喜びを知ってほしい」 太田哲也流フェラーリの楽しみ方

念願のフェラーリを手に入れたものの、上手く走らせることができないという人に
日本一のフェラーリ遣い“太田哲也”氏に訊いたフェラーリの駆け方

文●高桑秀典 写真●森口信之
text by TAKAKUWA Hidenori photos by MORIGUCHI Nobuyuki

フェラーリでのサーキット走行を定期的に楽しんでいたりと、フェラーリとモータースポーツとのかわりについて詳しいクルマ好きにとっても、太田哲也さんは特別な存在だ。

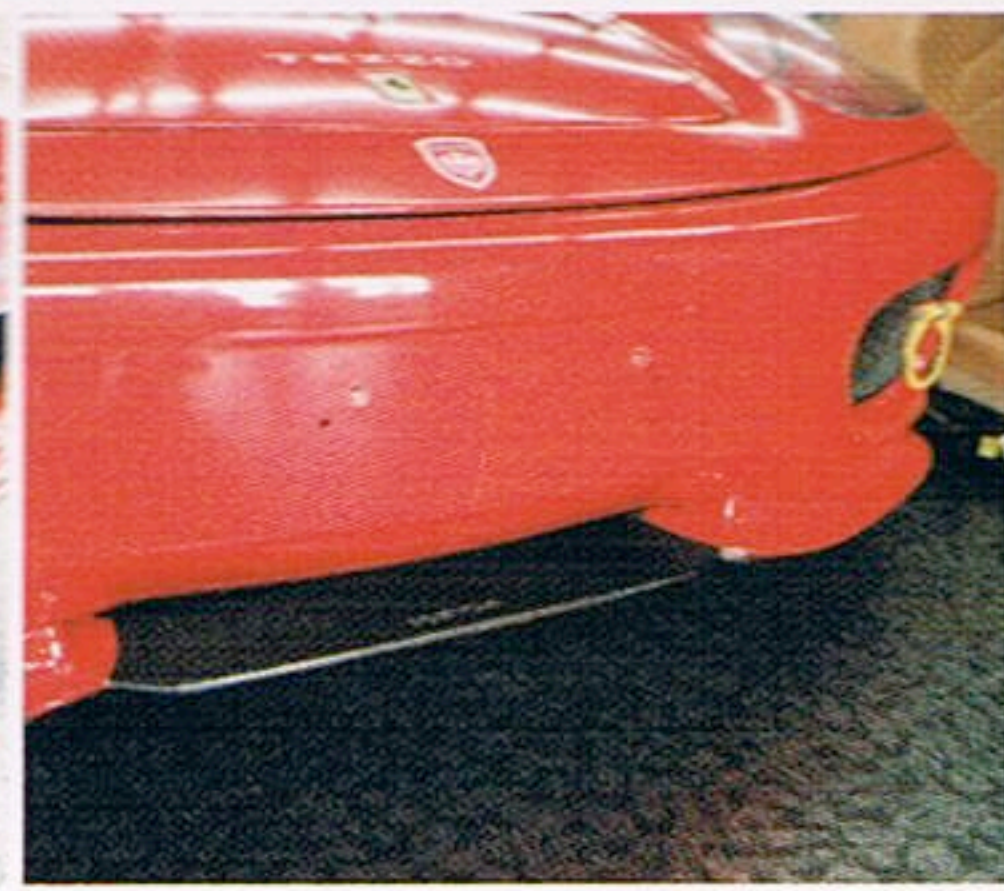
もはや改めて説明するまでもないが、かつて太田さんは F40 GT E のような超ハイパワー・フェラーリを駆り、ル・マンをはじめとする大舞台で持ち前のドライビング・テクニックを披露していた。

そして現在、それらの過酷かつ貴重な経験を通じて得たドライビング・テクニックやセッティングに関するノウハウを『太田哲也スポーツドライビングスクール』や TEZZO ブランドでのファイブ・チューニングにおいて一般のドライバーに積極的に伝えており、太田さんの尽力によって数多くのクルマ好きが公道やサーキットを安全に走れるようになっていった。

今回、太田さんから伺った話をスパーカー事始めの活用編としてご紹介したが、活用 II フェラーリでサーキットや公道を楽しく走るためには、まず、どのようなことを心がけ、どのようなセッティングにするのが適切なのか、ということを中心にテーマとした。そのことを頭の中に入れた上で最後まで読破していただけたら幸いだ。

取材当日、太田さんは開口一番「フェラーリは飾っておくためのものではない。走らせなきゃもったいない」と語ってくれた。「走って、こんなに面白いクルマはない。臆することなくフェラーリのアクセルを踏んでほしい」とも語ってくれたが、それらの言葉が物語るように、太田哲也流のフェラーリ・セッティング術とは、いかに気持ちよくア

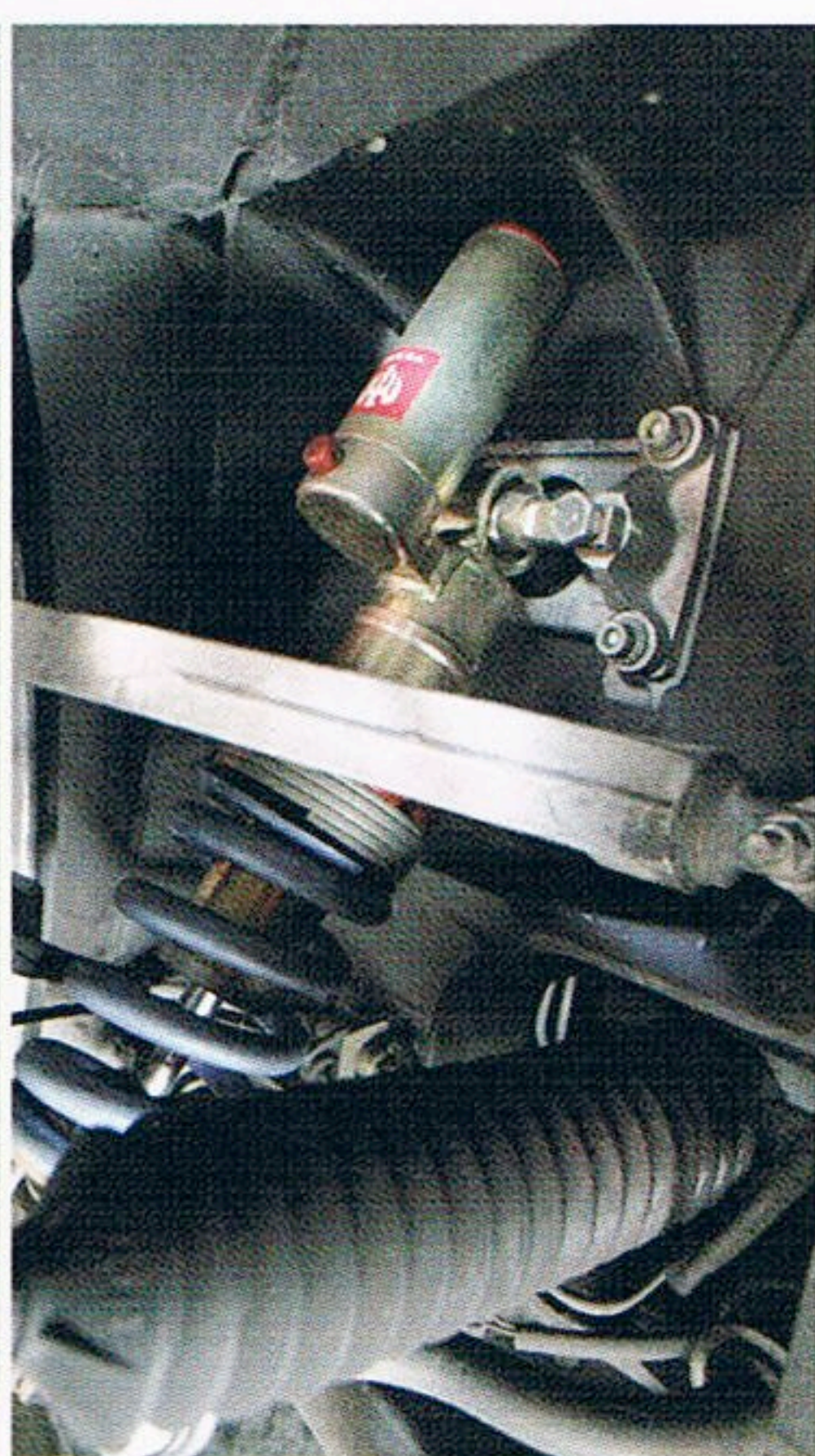
TEZZO 360モデナ



トルク重視型の軽量フルチタンマフラー、ブレイドタイプ・フロントスポイラー、リアディフューザー、18インチホイール等を装備。いずれもTEZZOオリジナルパーツだ。エンジンはノーマルをバランス取り、ミッションは強度をアップしている。



“いかに気持ちよくアクセルを踏めるか”、に主眼を置いてモディファイすべし!



ラージダクト・サイドスカート、安定したダウンフォースで乗りやすくするため、羽の理論を反映させたワンフォーム・リアウイング、DTT ECU チューン (Digi-Tec by TEZZO)、別タンク式ダンパー&スプリング、アルミフットボード等のTEZZOオリジナルパーツも装備。



Shop Information



TEZZO BASE

所在地：神奈川県横浜市都筑区荏田東 2-9-1

TEL：045-948-5535

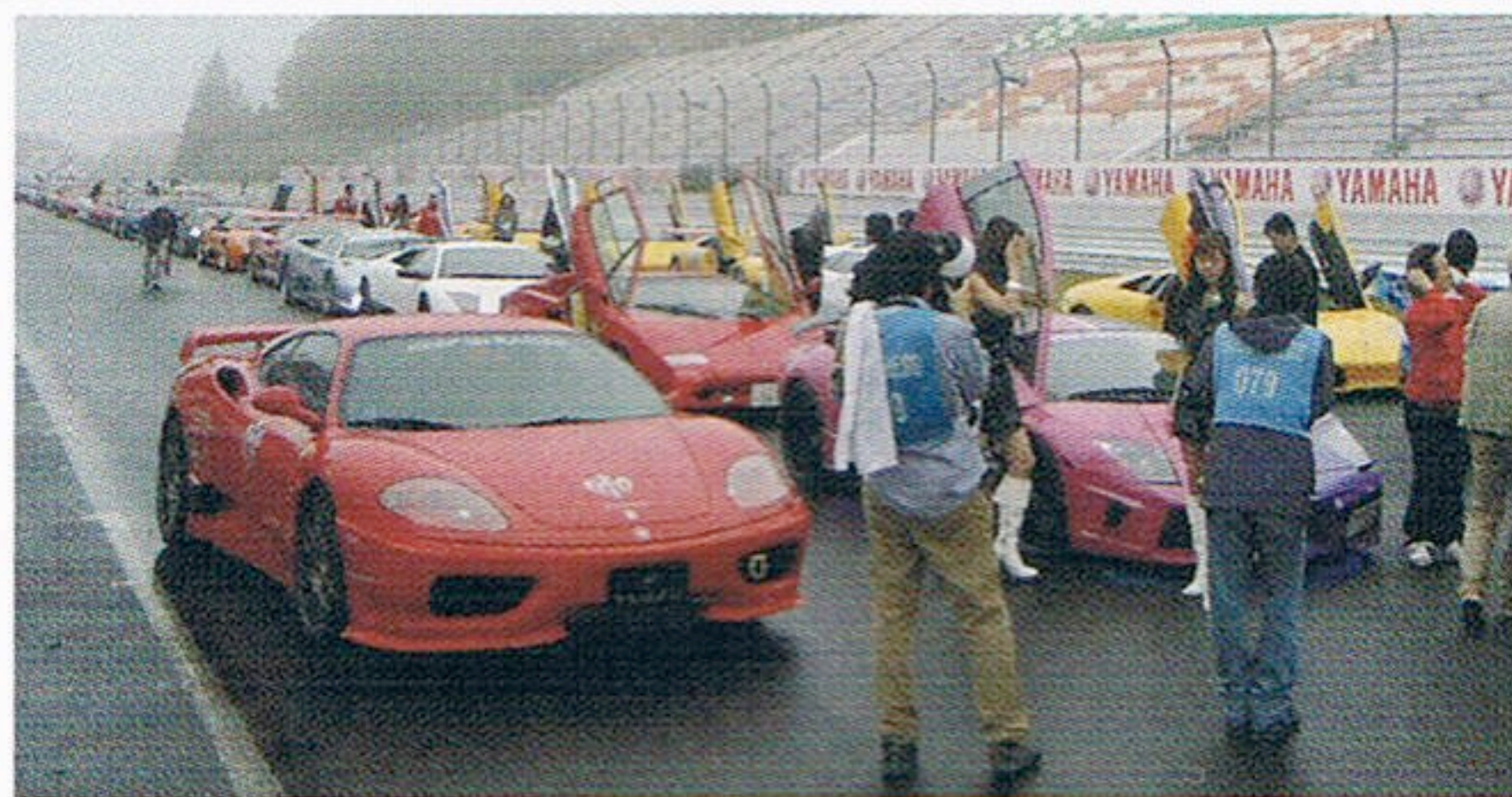
営業時間：12:00～19:00 (平日)

10:00～19:00 (土・日・祝日)

定休日：火曜日

URL：www.tezzobase.jp

オリジナルパーツを使用したモディファイの提案、施工をはじめ、内装のネバネバを取るといった作業も行なってくれる。気軽にご相談を。



問◎太田哲也スポーツドライビングスクール事務局
TEL.045-948-5540 www.sportsdriving.jp
E-mail.info@sportsdriving.jp

「クルマが日本を元気にする」

今年フェラーリのドライビングレッスンも!

昨年11月の管生訪問時に今年につながる「フェラーリ・ドライビングレッスン」を実施。先導走行、同乗走行、フリー走行、理論を学ぶ座学などをレクチャーした。参加者たちは「フェラーリの走り方を一から学べた。面白かった」という感想を述べ、大満足の様子だった。なお、Tetsuya Ota ENJOY & SAFETY DRIVING LESSON supported by 出光も定期的に開催されている。

クセルを踏めるか、を主題としている。車両選び&独自のマシン・セッティング術を具体的に述べると、こういうことだ。430や458はパワーがあまりすぎるので、電子制御をオフにした状態でドライバーがクルマを操る楽しさを味わえるのはF355や360モデナまでくらいかな、となる。

セッティングの方向性に関して、小パワー車はクルマのコーナリング限界を上げることが速さにつながるが、フェラーリのような大パワー車はドライバーが安心してアクセルを踏める乗り物であることが重要となる。

ドライバーに優しい乗り物にすることが結果的に速さにもつながる、という考え方のもとで、TEZZOのデモカーとして製作された360モデナは、フロント・サスが硬め、リアのほうがマイルドに動くセッティングとしている。360モデナのセッティング術に関してさらに追記しておく、エンジンは低速域のトルクを大幅に増やし、乗りやすさとパワーを向上させたDIT ECU (Digi-Tec by TEZZO) チューンを施している。

また、ホイールは、スポーツラジアルやSタイヤを入手しやすいという理由で18インチの鍛造としている。

乗りやすさと共に維持管理のしやすさにも配慮しているTEZZOのセッティング術は、現役の跳ね馬オーナーはもちろん、これからフェラーリを買いたいというビギナーにも参考になるだろう。まず最初にスポーツドライビングスクールを受講し、それからTEZZOにて愛車をモディファイしてもらおうというのがベストだ。

この機会に是非!